

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので6月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会で事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、9月上旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

食から考える暮らし

食から考える暮らしについて、次の視点から質問が行われました。

【健康寿命の延伸と環境】

質問：第2期鎌倉食育推進計画

画はどのようなものなのか、また、国の食育推進基本計画において、管理栄養士の業務のウエイトが高くなっているが、本市の配置状況を聞きたい。

健康福祉部長：鎌倉食育推進計画では、基本理念を、食を通して豊かな環境、健やかな心身を地域で育むまちづくりとしている。

また、国の食育推進基本計画では、各地域で食育の推進が着実に図られるよう、市町村における管理栄養士等の配置の推進がうたわれており、本市においては、健康寿命の延伸に向け、妊産婦から高齢者まで継続的な取り組みができるよう、管理栄養士の配置については、平成18年度に常勤1名、非常勤嘱託員2名に増員して強化している状況である。

質問：フードドライブという食品ロスに取り組むための考え方について、本市の状

況はいかがか。

環境部長：フードドライブは、家庭で余った食品をイベント等で集めてフードバンクに寄付するものであるが、他市町村での事例を参考にしながら実施に向けて取り組んでいきたい。

質問：健康寿命の延伸、食品ロス、フードドライブといった考え方を中心にしながら、環境施策・健康づくりに取り組んでいくことについて、本市の考え方を聞きたい。

市長：食という観点からの健康寿命の延伸は、市民一人一人が生涯を通じて心身ともに健康で豊かな生活を送るために大変重要であると考えている。ライフステージに応じた課題に対して切れ目なく取り組むことで、健康寿命の延伸につながるよう取り組んでいきたい。

【中学校給食の実施】

質問：本市では本年11月から中学校給食が始まるが、食材として、市内でとれた地場野菜や海産物の使用が期待される。その見込みはどうかか。

教育部長：中学校9校全ての給食を一括して調理するため、安定的に大量の食材の調達が必要となってくるが、小学校給食と同様に、できるだけ市内産の地場野菜や海産物が使用できるように、調達に努めていきたい。また、食材の産地については、ホームページ等で公表していく予定である。

質問：食材の放射性物質濃度測定についてはどのように実施するのか。

同部長：小学校給食と同様に行うこととし、本市の学校給食全体としての安全性の確認に努めていきたい。

【農業と福祉の連携】

質問：本市における、遊休農地の状況を聞きたい。

市民活動部長：本市の農地は全体で65ヘクタールあり、そのうち遊休農地は8・4ヘクタールある。これらの遊休農地は、遊休農地解消対策協議会で農地への復元を行うなど、順調に解消が進んでいるところである。

質問：先日の一般質問において、障害福祉サービスは積極的に提供していく必要があるとの答弁があった。その具体策でもある農福連携は国も進めているとのことであるが、本市の取り組み状況はどうかか。

健康福祉部長：農業には障害特性に応じた作業などが多く、知的障害者や精神障害者の訓練の場として、農作業体験を取り入れている福祉施設があることは認識している。農地確保の問題があるものの、社会福祉事業を活用した農業の環境整備に努めていきたい。

新しいインフラ整備の在り方

新しいインフラ整備の在り方について、次の質問が行われました。

質問：インフラの長寿命化計画をまとめ、事後保全型から予防保全型の管理方式を目指す社会基盤施設マネジメント計画が平成28年3月に策定されたが、その進捗状況はどうか。

都市整備部長：平成28年度は、市全体の実施計画との調整を図るとともに、各施設において予防保全型管理に向けて着実な取り組みを行うための管理方針を作成した。平成29年度は、各施設の現状を把握するための調査・点検を行い、取り組みに関わる全ての管理者が管理方針を共有した上で施設ごとのマネジメントに取り組む、最適なインフラの管理に努めていく。

質問：想定外のインフラ事故の発生状況と予防するための施策、また住民の安全をどのように確保していくのか伺いたい。

同部長：規模の大きな事故としては平成28年4月に稲村ガ崎で発生した道路陥没に伴う汚水圧送管破損事故があった。今後は、定期点検や調査結果の分析など予防保全型を中心とした維持管理を適切に行い、市民生活の安全・安心に努めたい。

質問：本市の道路状態は悪いと考えているが、道路の補修はどのように実施しているか。

同部長：幹線道路やバス通りを対象として平成24年度に道路舗装修繕計画を策定し

ており、舗装の補修更新を計画的に実施することで適正な管理に努めている。それ以外の生活道路や大規模住宅団地内の道路においては、住民要望等を受けて舗装の打ち換えや既存舗装の表面に薄く舗装をかぶせる工法などにより対応している。

質問：道路舗装修繕計画の進捗状況はどうか。

同部長：計画において修繕の必要な総延長は33・6キロメートルであり、平成28年度までの施工延長は約7・2キロメートルで、進捗率は約20％となっている。平成29年度は、約2・5キロメートルを予定している。

質問：道路の修繕を実施する優先順位付けの見直しは考えているか。

同部長：これまでの視点に加え、観光施設周辺等の視点を織り込み、平成30年度に道路舗装修繕計画の見直しを行う予定である。

質問：千葉市では、公用車に取り付けたスマートフォンで自動撮影した道路の画像を、AI（人工知能）が修繕の必要性を判断するという実証実験をしている。このシステムを応用し、ドローンで撮影した画像をAIに判断させれば、安全点検の効率化が図れ、迅速な対応が可能となると考えるがどうか。

市長：新しい取り組みということで、非常に可能性を感じる分野である。千葉市の実証実験等も注視していきたい。

一般質問項目一覧

① 松中 健治（無所属）

- ドローンの研究調査・訓練場所と活用
- 歩く人にやさしい道と観光、散策
- 旧岡本マンション計画地跡地のその後

② 武野 裕子（日本共産党）

- 平和行政の推進について
- 北鎌倉隧道の市民の安全と文化財保護について

③ 竹田 ゆかり（無所属）

- 障害者福祉サービスについて
- 市議会議員選挙について
- 教職員の多忙化について
- 学習教材について
- 市の窓口業務について

④ 高野 洋一（日本共産党）

- 子育て支援、特に保育園の増設について
- 教育支援、特に老朽化した学校の修繕等について
- 公共施設再編計画、市役所の移転等について
- 江ノ電の混雑対策について

⑤ 千 一（無所属）

- 車椅子などでも来訪してくれる観光客の対応について
- 子どもの家の事件について

- 学校にエレベーターを
- 信号のない横断歩道と点字ブロックについて
- 重度訪問介護について
- 寿福寺前の側溝などの通学路で危険な部分にふたを

⑥ 大石 和久（公明党）

- 岡本2丁目用地施設整備計画について

⑦ 永田 磨梨奈（鎌夢会）

- 鎌倉市の働く環境について
- 安心安全な地域づくりについて

⑧ 安立 奈穂（神奈川ネット鎌倉）

- 中学校給食について

⑨ 保坂 令子（神奈川ネット鎌倉）

- 鎌倉市の観光施策の今後の展開について
- 地方創生交付金事業の効果について

⑩ 納所 輝次（公明党）

- 歴史的遺産と共生するまちづくりについて

⑪ 池田 実（鎌倉みらい）

- 深沢地域のまちづくりについて
- 期待される市役所について
- 地域の役割と課題について
- インフラの維持補修について

⑫ 日向 慎吾（鎌夢会）

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応
- 地域の憩いの場について

⑬ 長嶋 竜弘（無所属）

- 松尾市政のフェイクを暴く！

⑭ 吉岡 和江（日本共産党）

- 自治体負担の新駅設置について
- 高齢者バス等交通優待制度の復活等について
- 道路・歩道・樹林管理等安全対策について

⑮ 飯野 真毅（無所属）

- 居場所づくりについて
- 公園行政について

⑯ 西岡 幸子（公明党）

- 「食」から考える健康寿命の延伸と環境について

⑰ くりはら えりこ（無所属）

- 2020年オリンピック・パラリンピックに向けた鎌倉市の取り組み

について

⑱ 伊藤 倫邦（自民党鎌倉市議団）

- 今泉クリーンセンターの今後の活用について
- 今泉 砂押川周辺道路状況、交通問題
- 災害発生時 町内会館の活用

⑲ 河村 琢磨（ヴィジョン）

- 農業と福祉の連携について
- ふるさと納税返礼品について
- 湘南モノレールSuica／PASMO交通系ICカード導入について
- AIを活用した自治体運営の可能性について
- 俯瞰的な視点でのまちづくりについて

⑳ 高橋 浩司（鎌夢会）

- 職員の就労環境について

請願・陳情について

市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。

請願は1人以上の紹介議員の署名が必要となり、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…定例会初日の前日まで
締め切りまでに提出された場合は、その定例会で審査します。それ以降に提出された場合は、原則、次の定例会での審査となります。

問い合わせは… 鎌倉市議会事務局 議事調査担当	電話：0467(23)3000 内線2448 FAX：0467(23)5825 メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp
-------------------------------	---